

1

「**労なくして**
この地上に何が生まれるのでしょうか
この橋も あの町も
公園も 学校も 美術館も
みんな労から生まれたものです
労なくして
どんな人間が育つのでしょうか
包容力も 創造力も
識見も 器量も 人格も
みんな労から生まれたものです

2

成人式を迎えた娘に
晴れ着姿で成人式を迎えた娘に
わたしはいいました
「どんな人間になりたいのか」
「どんな人生を送りたいのか」
それを今年一年自分に問いかけ続けなさい、と
この二つの問いなくして
どんな人間ができるのでしょうか
この二つの問いなくして
どんな人生が開けるといえるのでしょうか

13

「**労少なれば**
楽を求め 得を求め 安全を求める人が
集団をなして続いています
労を少なくして
幸せを得ようと競争に明け暮れます
でも労を少なくして
どんな幸せがあるのでしょうか
いつまでたっても
人間が出来上がることはなく
どこまで行っても
幸せにたどり着くことはありません

3

「**価値が生まれるのは**
大学は卒業したけれど
仕事がないと嘆いています
ほんとうにないのでしょうか
仕事を探すモノサシが問題です
高い給料、楽な仕事、恵まれた環境
こんなモノサシを当てる限り
ほんとうの仕事は見つかりません
価値のある仕事などというものは
あらかじめあるわけではないのです
そうではなく
「縁のあった仕事に
「どれだけ汗を流したか」で
価値が生まれるのではないのでしょうか

4

「**労はいただきますもの**
労は「いただきますもの」
これこそ天の与えと考えるとどうでしょうか
学ぶという労もいただきますもの
考えるという労もいただきますもの
信じるという労もいただきますもの
育てるといふ労もいただきますもの
創るといふ労もいただきますもの
使っても使っても減ることを知らない
使っても使っても飽きることを知らない
使っても使っても疲れることを知らない
なんとすばらしいいただきますものではないか

15

人生後編三つの危険地帯
人生の後編には
いくつもの危険地帯が横たわっています
「楽」という危険地帯
「得」という危険地帯
「安全」という危険地帯
おおぜいの人たちが競い合って
この危険地帯に足を踏み入れています
労を惜しみ、楽を求めて
楽で得で安全な道へ群れをなして進んでいます
この道をわたしは
人生後編の「三つの危険地帯」と位置づけました

5

「**内側の貧しい人**
内側の貧しい人は
外側を飾ろうとします
それは、学歴であったり肩書であったり
乗用車であったり住宅であったりします
つねに周囲を見渡し
人より多く手に入れたいと走ります
人より遅れないようにと競争に明け暮れます
所有へのとらわれが
生き方を限りなく狭くしています

6

「**長所は汗とともに**
特性はすでに表に現れています
長所は体内に埋もれています
使命は体内深く宿されています
なんとすばらしい仕組みでしょうか
特性は汗の前に
長所は汗とともに
使命は汗の後に
それぞれの姿形を現してきます
なんとすばらしい仕掛けでしょうか

16

「**能力の差は小さいけれど**
「能力の差は小さいけれど、努力の差は大きい」
星稜高校野球部監督の山下智茂さんは
これを松井秀喜選手に
くり返しくり返し聞かせたそうです
巨人軍に入団した松井選手は
この教えをどのように生かすのでしょうか
空前のサッカードームで試練を迎えたプロ野球界を
燦々と輝いた太陽が西に傾き、落日寸前の巨人軍を
球界の一番星と呼ばれる松井選手は
どのようにして救えるのでしょうか